

(13) ね ぎ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 軟腐病 <i>Pectobacterium carotovorum</i> <i>Dickeya</i> sp.	1. 排水を良好にし、過湿を避ける。 2. 地下水位の高い圃場では高うね栽培を行う。 3. 窒素過多にしない。 4. 発病株は集めて圃場の外に持ち出し、処分する。 <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. ヨネボン水和剤はべと病、さび病にも登録がある。	発 病 初 期	31 M1 31・24 24・M1 24・M1	ス タ ー ナ 水 和 剤 ヨ ネ ボ ン 水 和 剤 カ セ ッ ト 水 和 剤 (混)カスミンボルドー (混)カップーシン水和剤
2 苗立枯病 <i>Rizoctonia solani</i>	<b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. 土壌消毒方法はⅢ-14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土 壌 消 毒	— —	ガ ス タ ー ド 微 粒 剤 バ ス ア ミ ド 微 粒 剤
3 べと病 <i>Peronospora destructor</i>	1. 越年罹病株を3月中に抜き取る。 2. 排水を良好にする。 <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. 3月下旬頃から予防的に散布する。 2. 本病対象に防除を実施しているところでは、白色疫病の発生が少ない。 3. アミスター20フロアブル、メジャーフロアブルは浸透性を高める効果のある展着剤は薬害のおそれがあるので使用しない。 4. メジャーフロアブルは幼苗期では薬害を生じるおそれがあるので、使用をさける。 5. 本病害を対象にジマンダイセン水和剤、ペンコゼブ水和剤・フロアブル、ダコニール1000、リドミルゴールドMZ、フォリオゴールド、プロポーズ顆粒水和剤で防除を実施しているところでは、疫病の発生が少ない。	苗 床 及 び 3 月 下 旬 か ら	11 11 21 40 M3 M3 M3 M5 P7 U17 M3・4 4・M5 7・M5 21・27 27・40 40・M5 40・M1 40・M3 40・M3 49・40 45・40	アミスター20フロアブル メジャーフロアブル ランマンフロアブル レーバスフロアブル ジマンダイセン水和剤 ペンコゼブ水和剤 ペンコゼブフロアブル ダコニール1000 アリエッティ水和剤 ピシロックフロアブル (混)リドミルゴールドMZ (混)フォリオゴールド (混)ベジセイバー (混)ダイナモ顆粒水和剤 (混)ベトファイター顆粒水和剤 (混)プロポーズ顆粒水和剤 (混)フェスティバルC水和剤 (混)カンパネラ水和剤 (混)ベネセット水和剤 (混)オロンディスウルトラSC (混)ザンプロDMフロアブル
4 黒斑病 <i>Alternaria porri</i>	1. 梅雨期と秋期、特に生育後期の肥切れのときに発病が多いので、適切な施肥をする。 2. 排水を良好にする。 3. 被害株は圃場外へ持ち出し、処分する。 4. 他の病害と併発することがある。 <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. アミスター20フロアブル、メジャーフロアブル、アミスターオブティフロアブルは浸透性を高める効果のある展着剤は薬害のおそれがあるので使用しない。 2. ヨネボン水和剤はべと病、さび病にも登録がある。 3. ロブラール水和剤はボトリチス葉枯症にも登録がある。 4. 本病害を対象にジマンダイセン水和剤、ペンコゼブ水和剤・フロアブル、ダコニール1000、アミスターオブティフロアブルで防除を実施しているところでは、疫病の発生が少ない。	発 病 初 期	2 7 7 7 11 11 11 11 M1 M3 M3 M5 11・7 11・M5 40・M3 40・M3	ロ ブ ラ ー ル 水 和 剤 ア フ ェ ッ ト フ ロ ア ブ ル パ レ ー ド 2 0 フ ロ ア ブ ル カ ナ メ フ ロ ア ブ ル アミスター20フロアブル ストロビーフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 メジャーフロアブル ヨネボン水和剤 ジマンダイセン水和剤 ペンコゼブ水和剤 ペンコゼブフロアブル ダコニール1000 (混)シグナムWDG (混)アミスターオブティフロアブル (混)カンパネラ水和剤 (混)ベネセット水和剤
5 さび病 <i>Puccinia allii</i>	1. 草勢を良好に保ち、肥料不足や窒素過多を避ける。 2. 罹病株は抜き取り、処分する。 <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. ストロビー、メジャー、アミスターオブティは浸透性を高める効果のある展着剤は薬害のおそれがあるので使用しない。	発 病 初 期	3 3 3 3 7 7 11 11 11 11	サ プ ロ ー ル 乳 剤 ラ リ ー 水 和 剤 ラ リ ー 乳 剤 セ ー フ ガ ー ド 乳 剤 ア フ ェ ッ ト フ ロ ア ブ ル カ ナ メ フ ロ ア ブ ル ファンタジスタ顆粒水和剤 ストロビーフロアブル メジャーフロアブル アミスター20フロアブル

農薬の使用法や注意事項はラベルで確認する

ねぎ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
	2. 本病害を対象にジマンダイセン水和剤、ペンコゼブ水和剤・フロアブル、ダコニール1000、アミスターオブティフロアブル、ベジセイバーで防除を実施しているところでは、疫病の発生が少ない。	発病初期	39 M3 M3 M3 M5 M3・3 11・7 7・M5 11・M5	ハチハチ乳剤 ジマンダイセン水和剤 ペンコゼブ水和剤 ペンコゼブフロアブル ダコニール1000 (混)ブローダ水和剤 (混)シグナムWDG (混)ベジセイバー (混)アミスターオブティフロアブル
6 疫病 <i>Phytophthora nicotianae</i>	1. 前作で発生した圃場では連作を避け、ネギ類やウリ科以外の作物を栽培する。 2. 低湿地やくぼ地では栽培を避けるか、高うね栽培とし、排水不良畑では排水を良好にする。 3. 肥培管理を適正にする。	発病初期	P7	アリエッティ水和剤
7 萎凋病 <i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>cepae</i>	1. 土壌のpHを6.5以上に矯正する。 2. 種子消毒を行う。 3. 育苗中に過度の乾燥状態や高温を避ける。  〈薬剤使用の特記事項〉 1. 土壌消毒方法はⅢ-14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土 壌 消 毒	— — —	クロールピクリン ガスタード微粒剤 バスアミド微粒剤
		定 植 直 前	1 1	ベンレート水和剤 トップジンM水和剤
		定 植 前	3	トリフミン水和剤
8 白絹病 <i>Sclerotium rolfsii</i>	1. 連作を避ける。 2. 被害茎葉は圃場外で処分する。 3. 夏期に湛水可能な圃場は、高温時に20日以上湛水すると、菌核が死滅するので有効である。 4. 輪作をする場合は、ナス科以外にウリ科、アブラナ科、マメ科などを犯す(多犯性)ので、作物選定に注意する。  〈薬剤使用の特記事項〉 ● 播種前(土壌消毒) 1. 土壌消毒方法はⅢ-14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土 壌 消 毒	—	ドロクロール
		発 生 初 期	7 7 19 U18	アフェットフロアブル カナメフロアブル ジオゼット水和剤 バリダシン液剤 5
9 黒腐菌核病 <i>Sclerotium cepivorum</i>	1. 連作を避ける。 2. 被害茎葉は圃場外で処分する。 3. 夏期に湛水可能な圃場は、高温時に20日以上湛水すると、菌核が死滅するので有効である。	発 生 初 期	7	カナメフロアブル
10 小菌核腐敗病 <i>Botrytis squamosa</i>	1. ネギ属植物の連作は避け、他の作物との輪作を行う。 2. 排水不良地には栽培しない。 3. 被害茎葉及び残さは圃場周辺に放置せず、適正に処分する。	定 植 前	1	ベンレート水和剤
		定 植 直 前	1	トップジンM水和剤
		発 病 初 期	1 1 7 11 12 M7・19 11・M5	ベンレート水和剤 トップジンM水和剤 アフェットフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 セイビアーフロアブル20 (混)ポリベリン水和剤 (混)アミスターオブティフロアブル

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する





ねぎ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
17 シロイチモジヨトウ	1. 飛び込み軽減のため、防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。  <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> ●発生初期 1. 本虫対象にスピノエース、アフアーム、マッチで防除を実施しているところでは、ネギハモグリバエ、ネギアザミウマの発生が少ない。 2. 本虫対象に防除を実施しているところでは、ハスモンヨトウの発生が少ない。	育苗期後半 ～ 定植当日	28	ベリマークSC
		発生初期	3A アグロスリン乳剤 3A トレボン乳剤 6 アフアーム乳剤 6 アニキ乳剤 5 スピノエース顆粒水和剤 5 デイアナSC 11A フローバックDF 11A エコマスタートBT 13 コテツフロアブル 15 アタブロン乳剤 15 ノーモルト乳剤 15 マッチ乳剤 15 カスケード乳剤 18 ファルコンフロアブル 18 ロムダンフロアブル 21A ハチハチ乳剤 22A トルネードエースDF 22A ファイントリムDF 22B アクセルフロアブル 28 フェニックス顆粒水和剤 28 ベネビアOD 28 ヨーバルフロアブル 30 グレーシア乳剤 30 ブロフレアSC UN プレオフロアブル 一・5 (混)ダブルシューターSE 6・15 (混)アフアームエクセラ顆粒水和剤 21A・22B (混)アクセルキングフロアブル	
18 ネギコガ	1. ネギ類の周年出荷栽培を行っている地域では、各作型を計画的に栽培し、本種の生活環を断つ。	定植前日 ～ 定植時	4A 4A	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤
		発生初期	1B スミチオン乳剤 3A アデイオン乳剤 3A アグロスリン乳剤 5 デイアナSC 21A ハチハチ乳剤 28 フェニックス顆粒水和剤 28 ヨーバルフロアブル 28 ベネビアOD 30 グレーシア乳剤 30 ブロフレアSC 21A・22B (混)アクセルキングフロアブル	
19 タネバエ	1. 植え傷みを少なくする。 2. 被害株を抜き取り処分する。	植付時	4A	ダントツ粒剤
		育苗期後半 ～ 定植当日	28 28・4A	ベリマークSC (混)ジュリボフロアブル
		定植前日 ～ 定植時	4A 4A	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤
20 クロバネキノコバエ類	1. 被害株は抜き取り処分する。	発生初期	30	グレーシア乳剤

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する